



祈念史料室 みゆき (平成30年3月30日開設)



御祭神数

当神社に御鎮祭申し上げております
御祭神は四万九千七百二十八柱です。

終戦記念日祭挨拶

宮司 額田照彦

本日の終戦記念日祭に際しましては猛暑の中、またご多用のところ、御参列賜りまして誠に有難く厚く御礼申し上げます。

また、本日ご参列のご遺族の皆様方をはじめ、友好団体、崇敬者の皆様方には、日頃より英霊の慰霊顕彰、神社の護持運営には、格別のご理解・ご配慮を賜りまして重ねて御礼申し上げます。

さて、昨年二月、ロシアによるウクライナ侵攻がはじまり、現在約一年半が経過しましたが、未だ終戦・停戦の先行きが見えない中連日悲惨な状況が報道されております。また、最近では北朝鮮によるミサイル発射と、中国による台湾への侵攻の恐れと国際秩序を無視した海洋進出、軍事力の拡大、併せて終わりの見えないロシアによるウクライナ侵攻を目の当たりにした中、我が国を取り巻く安全保障上の脅威は今迄以

上に危機的状況にあると思われます。一刻も早い法整備、米国との同盟強化、友好国との連携強化により、我が国の安全保障、国益を守る備えを怠ってはならないと存じます。

一方国内に目を向ければ、戦後七十八年が経過し、御遺族の高齢化が更に進み、遺児の平均年齢は八十二歳と聞いております。また、全国二百四十六万余柱の英霊の内、独身で、直系の家族がなく散華された英霊が約六割、百四十万人と聞いております。このうち愛媛ご出身の英霊を慰霊顕彰するために、平成三十年四月に開設しました、「祈念史料室みゆき」は、途中コロナの影響もありましたが、開設より今年七月迄に一万人を超える入館者を戴いております。この史料室は遺族会の皆様の強いご要望により、次代を担う若い世代に「平和の尊さ」「戦争の悲惨さ」「英霊のご遺徳を後世に継承していく」ということを、大きな目的の一つとして開設致しました。

御遺族の高齢化、戦友会の解散等が進む中、次世代に英霊の「慰霊」と「顕彰」ご

「遺徳」を継承していく上で、重要な施設として、今後も運用、活用していきたいと存じております。

最後になりますが、平成九年四月愛媛玉串料訴訟の最高裁判所の上告審において「靖國神社などへの玉串料等の公金の支出は憲法の政教分離規定に違反する」との違憲判決がなされて以来、護國神社への知事の参拝は途絶えております。他県では、現在も知事が例大祭に参列している状況もございます。護國神社と致しましては、春・秋の例大祭には、靖國神社への天皇皇后陛下下の御親拝、また、首相自らご参拝頂き、また各県護國神社への参拝は、各県知事に参拝して頂くことを切に願うところでございます。

また、教育関係者に祈念史料室を小・中学生の平和学習教育に活用して頂けたら、英霊もお喜びのことと存じますが、玉串料訴訟の違憲判決により、特に護國神社の施設等利用に消極的なように想われます。

本日ご参列の皆様方を始め、友好団体、崇敬者の皆様方には、学校・教育関係者に働きかけを頂き、引き続き英霊の慰霊顕彰に、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、ご参列の皆様のご健勝と、益々のご活躍をお祈り申し上げ、以上簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。本日は猛暑の中、長時間に亘りご参列賜り誠に有難うございました。

御挨拶

愛媛県遺族会

会長 関谷勝嗣



今年の夏は連日猛暑が続き、日本の平均気温は平年と比べて一・七六度も高く、気象庁が統計を取り始めてからの百二十五年間で最も高い、まさに異常気象といえる夏でした。皆様はどのようにこの夏を乗り越えられたでしょうか。

この猛暑の中、今年も、終戦記念日である八月十五日に県民文化会館にて「愛媛県戦没者追悼式」が行われました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和二年度から規模を縮小して開催されておりました追悼式ですが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の「五類」への移行を受けて、四年ぶりに制限のない開催となりました。県内外から約八百人の方々がお参列くださり、戦没者を追悼しました。また、日本武道館で行われた全国戦没者追悼式にも、四年ぶりに愛媛県から遺族が参加し、戦没者の冥福と恒久平和を祈りました。我々遺族会にとって大切な慰霊顕彰の機会が一つ戻ってきたことをうれしく感じております。

ご存知のように、遺族会の務めは、英霊の顕彰と遺族の援護を行うと共に、戦争の虚しさや平和の尊さを後世に伝えることにあります。

終戦から七十八年が経ちました。昭和から平成、令和と時代が移り、遺族の高齢化が進んでいます。戦後生まれの人口は日本の総人口の八割を超えており、終戦時に十八歳以上だった明治・大正生まれの世代に至っては人口の〇・五パーセントにすぎない状況です。戦争の記憶が薄れつつある中、戦争の悲惨さを次代に伝えていく取り組みが重要になってきます。そのためにも遺族会青年部の活性化が急務です。遺族会を担う次世代の育成も課題の一つであります。今後も、後継者の育成に力を注ぐと共に、世界の平和の実現に努めて参ります。

さて、世界に目を向けますと、ロシアのウクライナ侵攻をはじめスーダンの紛争、シリアの内戦等悲惨なニュースがいまだ後を絶ちません。特に長期化しているロシアのウクライナ侵攻は世界中にあらゆる影響を及ぼしています。

今年一月に、米国の科学誌である『原子力科学者会報』(Bulletin of the Atomic Scientists)が、「終末時計」を「残り九十秒」と発表しました。「終末時計」とは、専門家が科学や安全保障の観点から人類滅亡までの切迫度合いを比喩的に示したものだそうです。深夜〇時を人類滅亡と見立て、核戦争などの危機が高まれば針を進めて残り時間を短くし、逆に危機が遠のけば、針を戻して残り

時間を延ばすようです。アメリカとソ連の核開発競争が本格化し、両国が水爆実験に成功した一九五三年に「残り二分」となったものの増減を繰り返し、二〇二〇年～二〇二二年の三年間は「残り百秒」と変化がありませんでした。ところが、二〇二三年は更に十秒短くなり、史上最短となりました。この理由として、ロシアによるウクライナ侵攻とそれに伴う核兵器使用のリスクが増大したことが挙げられています。また、中国の核軍拡や北朝鮮のミサイル開発などについても脅威であるとされました。

日本はこの脅威とされる、ロシア、中国、北朝鮮に三方を囲まれています。日本はこれまで以上に自らの安全保障を自らの手で確保する必要に迫られています。

令和四年十二月に政府は「国家安全保障戦略」「国家防衛戦略」「防衛力整備計画」により構成される「三文書」を改定し、閣議決定しました。この改定は、我が国の安全保障や国防のあり方を大きく変える歴史的な転換点になったと言われています。

防衛省は、来年度予算案の概算要求で、過去最大となる七兆七千三百八十五億円を計上しました。これは、軍備増強を続ける中国、北朝鮮や、ウクライナに侵攻するロシアをにらみ、抑止力を強化するためです。

ロシアのウクライナ侵攻から世界情勢は大きく変わりました。日本周辺諸国の対日姿勢も厳しさを強めています。この厳しい状況に置かれた日本において、どのように平和を維持していくかを考えることもまた、遺族会に

とって大切な役割であると思います。

最後に英霊の安らかなることと護國神社崇敬会会員、並びに遺族会会員の皆様のご健勝、ご多幸を念じつつ、ご挨拶いたします。

祈念 史料室 みゆき だより (七)

戦争の教訓を

子供や孫に伝える使命

松山市遺族会

副会長 正 金 郎

松山市から「平和の語り部」の依頼があり、令和五年五月にみどり小学校（六年生九十二名）と六月に正岡小学校（五・六年生二十名）で一時間話をし、生徒からの質問を受けた。

話した内容は、①七月二十六日の松山大空襲、②父がフィリピンのルソン島で戦死したこと、③ボランティアとしてカンボジアの地雷処理活動に命がけで取り組んでいる高山良二理事長（七十六歳・三間町出身）の寄付金、募金活動などの手伝いをしてること、④世界から戦争をなくすために何をすべきかの意見交換を行った。

①松山大空襲では、当時の食べ物や服装についての質問があった。昭和二十年（一九四五年）から三十年頃の自給自足の話をしても理解できない表情であった。大事なことは米（米農家）、卵（養鶏舎）、肉（牛舎）を作っ

ている人のことを考え、できれば農家に向いて体験することで、少しでもわかるようになることを話した。

松山市役所の用意した松山大空襲のビデオで、B29から焼夷弾が次々と落ちる映像や逃げ惑う人々、凄惨極まりない状況が生徒の目に焼き付いている表情であった。

愛媛新聞紙上にも掲載されていた松山大空襲の「語り部」として十三年間で延べ七十四校の小・中学校を訪ね、公演された中山厚さん（九十歳）。「戦争は人間が起こす最も愚かな行為。人間の知恵で戦争のない、子どもたちが大人になった時に正しい判断をするためのきっかけになりたい」と述べられていた。

愛媛県戦没者追悼式で遺族代表として、白石世津子さんも「私たちは先人たちの思いを忘れず、次世代の子どもや子孫に語り伝える使命があります」と述べられていたが、遺族会としても大きな課題として取り組んでいかねばならない。

②フィリピンのルソン島で父が戦死した時、私は二歳で、父の顔も記憶にはない。ただ、父の遺言文の中に「兄弟、子どもの教育については、できる限りのことをしてください」とあり、八幡浜市川上町の五反百姓（五十アール）の半農半漁の極貧生活で、母の苦勞は計り知れないものがあった。スイカ、ジャガイモ、トマトなどを作り、それをリヤカーで二時間往復して販売する辛い作業を手伝うことで、精神力を鍛えられたと思う。遺言文のとおり、祖父、祖母、母は立派に教育をしてくれ、子ども・孫まで高校・大学に行



フィリピン・ルソン島マウンテン州バギオの山奥での慰霊祭(2008年・ルソン会)

き、社会人として仕事に精進していることは、父の遺言のお陰だと感謝している。二〇〇八年十一月には、日本遺族会主催の「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」としてフィリピン訪問に保木山栄満さんと共に参加した。フィリピンで日本軍は、五十万人超とおびただしい数の死者を出した。父は、一九四五年三月十三日、フィリピンのマウンテン州バギオで戦死、全国の遺児仲間と慰霊祭を行い、「父さん、日本へ一緒に帰りましょう。残された私たちは戦争をなくし、世界平和のために一人ひとりができることをやります。天国から見守ってください」と参加者全員が大きな声で訴えた。

戦争の悲惨は、わずか二年でフィリピン人が百十二万人死亡していたこと、アメリカ兵も五十万人の戦死者、日本兵五十万人と合計百六十七万人の命が失われたことである。戦争の最大の悲劇は現地の住民であり、子どもたちである。「人が人を殺すような悲惨な戦争は二度としてはならない」ことを誓い合い、全国の仲間の有志で「二〇〇八・ルソンの会」を結成し、毎年持ち回りで各県を訪問して、世界の戦争をなくし、平和構築のために何ができるかの情報交換を行っている。(この三年間はコロナ禍で中止)

③二〇一〇年「平和の種子をまく」の高山良二(NPO法人国際地雷処理・地域復興支援の会)理事長の講演を聞いて、それ以来寄付金活動、講演会、募金活動などを手伝うようになった。二〇一三年には、遺児の保木山栄満さんなど四人でカンボジアの地雷処理現場を訪問し、命がけの「住民参加型」地雷処理活動に共感し、現在も手伝いを続けている。

高山理事長は、地雷処理活動は、あくまでも手段であり、「引き金をひかない国際秩序を守る世界平和の構築が目的」であると強い信念をもって取り組んでいる。「人間が起こした過ちは人間が正さなければならぬ。その過ちを子や孫の代まで放置してはならない」との決意から、自衛官を退職された後、熟練の地雷処理技術を生かして、「平和の種になりたい」とカンボジアのサタエン村で活動をされている。

④世界から戦争をなくすために何をすべきかについて意見交換をした。

また、九月二十二日、愛大附属中学二年生百二十八名に「平和の語り部」の依頼があったので、勉強をしているところである。図書



カンボジア・タサエン村の地雷処理活動(右から高山理事長、佐々木氏、筆者)

館に行き、平和と戦争についての本、著名人の談話、マンガ本、DVDなど幅広い知識が必要である。特に哲学を学ぶことが大事で「人類をつなげる、対話では同じ問いを共有する必要があるからです」とあり、最終目標は「平和」であると哲学者の河野哲也氏は述べられている。

戦争が起こった原因は、食糧不足(日本の食料自給率三十八パーセント)、エネルギー不足(日本の自給率十二パーセント)、独裁者の人間性(ヒトラー・プーチンなど)であり、勉強することはたくさんある。勉強したことを、父・母(祖父・祖母)と家庭で平和と戦争についてよく話すことが、一番大切だと訴えた。

遺族会の使命は、一人でも多くの方が「語り部」を通して、子どもや孫に語り伝えていくことであると痛感している。

『戦友団体等による慰霊祭』

令和五年

四月二十八日 今治市吉海町慰霊祭

五月十日 西条市国安慰霊祭

五月十三日 愛媛シベリアを語り継ぐ会
慰霊祭

五月二十八日 西予市野村町野村地区慰霊祭

六月三十日 愛媛県殉職消防職団員慰霊祭

七月十九日 今治市宮窪町慰霊祭

八月十七日 歩兵第二十二聯隊慰霊祭

九月十七日 今治市大西慰霊祭

九月十七日 今治市朝倉慰霊祭

〈永代祭祀料奉納者ご芳名〉

令和五年

四月二十九日 一金貳萬円

新居浜市桜木町 三浦 淳子様

八月二日 一金貳萬円

今治市朝倉上 曾我部洋三様

〔寄贈図書〕

一、「令和の御大典を壽ぐ」

— 神社本庁活動記録 —

東京都渋谷区代々木 神社本庁様

令和五年(四月)春季慰霊大祭奉仕者

(敬称略)

献茶奉仕者(茶道裏千家淡交会松山支部)

副幹事長

常任幹事

献花奉仕者(愛媛県華道会)

桂月流 松山市朝日ヶ丘

木村宗悦

西村宗恵

岩本清美

奉納生花奉仕者

桂月流 松山市朝日ヶ丘

幣殿献花奉仕者(華道家元池坊松山支部)

伊予郡松前町筒井

松山市南久米町

献吟奉仕者(清吟堂吟友会)

九日 奉安祭献吟

尺八献奏者

尺八献奏者

大祭献吟

十日

尺八献奏者

献誦奉仕者(愛媛縣護國神社献誦会)

献誦

尺八献奏者

尺八献奏者

尺八献奏者

尺八献奏者

尺八献奏者

尺八献奏者

尺八献奏者

尺八献奏者

尺八献奏者

尺八献奏者

尺八献奏者

尺八献奏者

尺八献奏者

尺八献奏者

尺八献奏者

岩本清美

池内ミワ

石丸明子

白石博風

笠崎瑞洋

永井清長

長谷川廣山

紙野麗月

佐伯瑞媛

二神清鷹

長谷川廣山

村井安夫



護國の英霊・慰霊と顕彰を

愛媛万葉苑保存会

常任理事 藤原茂

早いもので、今年も終戦から七十八年目を迎え、恒例の全国戦没者追悼式や愛媛県戦没者追悼式が開かれた。しかし当日靖國神社へ詣でた国会議員は七十名だったと報道されていた。県護國神社で開かれた記念式典でも、国会議員五名、県・市議会議員六名。関係団体代表一般参会者を含めても三十数名に過ぎ

なかった。報道によれば遺族世帯は一九六七
年の百二十五万世帯からほぼ五十年で半減し
ているという。戦後七十八年不思議ではない。
しかし、祖国や同胞を護るために、あたら
若い生命を捧げた英霊に対しての慰霊・顕彰
は、国や今を生きる我々国民の当然の責務で
はなかるうか。
私は終戦を中国の万里の長城八達嶺で迎え
た。ソ連の戦車集団を迎え撃つべく必死の覚
悟で肉攻準備中であつた。終戦を知ると、僅
か四ヶ月前に従軍していた老河口作戦で失つ
た多くの戦友と、当時在隊していた保定幹部
候補生隊の先輩たちが、連日沖繩で特攻要員
として名誉の戦死をしていたことを思い、今
に生きている自分を責めていた。
その後私は、幸運にもその年の十二月帰
国・復員していたが、爾来夏が来ると今に生
きている自分を責める自虐癖がトラウマのよ
うに頭脳から離れなかつた。
ところが数年前、県の遺族会に参加して靖
國神社の「みたままつり」に参加させても
らつた。その前夜祭で境内一面に掲げられた
万灯の中から奇跡的に、原隊の「騎兵第二十
五聯隊」と「保定幹部候補生隊」の数十灯に
出会つた。その翌日、正式に昇殿参拝を許さ
れ、多くの戦友の御霊の前で、祖国の繁栄を
報告し、久闊を詫び慰霊の言葉を述べた。そ
れからは不思議に自虐的なトラウマが消えて
いた。
そんな矢先の平成三十年、靖國神社第十二
代小堀宮司の発言を巡る事件が週刊誌に報じ
られた。不敬に拘わる宮司の発言や、神社内

部の事情漏洩などは問題であり遺憾な事件であった。

そもそも靖國神社は明治天皇が国のために殉じた英霊の慰霊・顕彰のために祀られた神社である。だからこそ日清・日露の戦争から大東亜戦争に至るまでの多くの英霊がお祀りされてきた。私たち世代の多くは、祖国と同胞を護るために莞爾として従軍し、家族や青春を顧みず戦ってきた。私もその一人で、学友や戦友たちといずれは靖國神社で会おうと誓い合ってきた。それだけに靖國神社や護國神社が軽視されていることはいかにも無念である。英霊の慰霊・顕彰は「片時も忘れない」と思いつつも忘れがちなのが実情である。

しかし、慰霊・顕彰の話題になると、「戦争容認か」と非難する意見もあるが、平和を願う心と慰霊・顕彰との間に矛盾はない。

ただ気になるのは、総理をはじめ要職の方たちの靖國神社や護國神社への参拝も少なく疎んじられていることである。中曽根元首相や安倍元首相も就任前の発言にも拘らず、他国の中傷に凝りてか中断されたままであった。国の元首や大統領・総理が他国を訪問された時には、その国の戦没者の霊に詣でるのは常識である。戦後間もない頃、靖國神社にお参りした時、武装した米兵の一団に出会ったことがある。当時米兵の参拝は珍しくなかったと聞いて、かつての敵ながら「天晴れ」と思ったことがある。

私は荒れ果てていた「愛媛県戦没者慰霊塔」や「軍馬・軍犬・軍鳩・家畜慰霊塔」の修復・維持に関わっている。県護國神社にも

十数基の慰霊・顕彰碑があるが、建立した戦友会も解散し維持管理もままならない現状だ。今は神社や万葉苑保存会で何とか維持・管理されているのが現状だ。たまたまこの八月二十二日のNHKテレビと読売新聞社説が全国にある多くの「戦没者慰霊塔」の維持管理を憂い、「国のために命を落とした人たちの存在を留めることは国の大切な責務である」として行政の関与を訴えていた。全く同感である。しかし、公共団体や公職者の神社等への関与については色々の意見がある。

私も県に在職中「靖國神社への玉串料訴訟問題」を担当したことがある。残念ながら民主党政権下の最高裁で敗訴した苦い経験である。それで思い出すのが、以前あった九州某県での学校生徒の神社参拝の可否をめぐる紛争である。それに関して衛藤晟一参院議員が参院文教委で質問し、更に平沼赳夫議員から衆院文教委で質問主意書の提出があった。当時の渡海文相が明確に答弁されており、閣議決定の答弁書も出されている。記録によれば、「昭和二十年にGHQが出した『神道指令』に基づいて出された文部省通達の中の『学校が主催して靖國神社・護國神社及び主として戦没者を祀った神社を訪問してはならない』によって学校行事としての訪問が禁止されてきた。しかし神道指令は昭和二十七年我が国の独立によって効力を失った」と。にも拘らずこの一部だけは講和成立後も有効視されてきた。この時点で正確に無効とされ、学校行事としての修学旅行や野外活動として靖國神社や護國神社への訪問を許可している。

しかし、独立以降の事情は一般にはほとんど認知されてこなかったのではなからうか。神社や慰霊塔への無関心さの重要な原因ではなからうか。大いに反省されることである。私は小堀前宮司の戦没者の慰霊・顕彰への想いは同じである。左に同氏の詩を掲げる。

靖國神社の神前にて 小堀邦夫

あなたは見ようとしないのでしようか。

二百四十六万余柱の御霊が、あなたと同じように生きていることを。…中略…

これが最後かもしれないと思いながら、別れの言葉や思いを伝えようとしていることを。…中略…

私には聞こえます。御霊たちが涙ながらに言いかわしている言葉が。

天寿を全うすることのかなわなかった御霊たちが、その命の上に堂々と生きてくれよと願っている言葉が。

神前に額づく時、いつも御霊たちのささやきが止まり、無音の時空の中でじつと私を見つめている。…中略…

どうか、どこの誰であっても良い、ここに頭を垂れて、御霊たちに話しかけてほしいのです。

あなた方の悲しみのお陰で、今があることを。今もこれからもあなた方を忘れはしないと。

靖國や護國の宮に歎呼して

送りし民草今は何処に

白寿翁 茂

『紫電改343』の作家来たる！

前愛媛県議会議員

森 高 康 行



お許しをいただき、ご案内いたします。

愛媛松山が舞台の『紫電改343』は、講談社雑誌『イブニング』に連載されていた戦記漫画で好評を博してりましたが、雑誌が休刊となり、作品継続が難しくなっていたものの、クラウドファンディングが成功し、作家・須本壮一氏のサイトで掲載が継続されております。

私は昨年、友人の紹介で須本壮一氏と出会い、これまで漫画『アクション』で『奪還』『めぐみ』『母が拉致された時』、僕はまだ一歳だった』などの連載を通して、若者も含めた多くの世代に北朝鮮拉致問題の不当性を訴えたり、作家・百田尚樹氏原作の『永遠の0』や『海賊と呼ばれた男』を漫画化するなど、社会的に必要な作品を意欲的に世に問われています。

今回は、十月二十四日(火)午後、愛媛県護國神社正式参拝を初めて行われることとなりました。併せて奉納演武として、俳優の故・丹波哲郎さんの弟子で本県出身の岩ゲン

トさんと伊予市観光大使で南海放送ラジオパーソナリティーのNiccoさんのお二人による奉納も予定されております。

参拝終了後は、みゆき殿二階において、「漫画家須本壮一氏を囲む会」を十四時から会費千円(資料・飲み物代含)で開催いたします。参加申し込みは神社受付にありますので、事前申し込みを宜しくお願いいたします。

この『紫電改343』は、源田実先生が率いた松山駐在の部隊であり、須本さんは今回の来県で、西条市榎本神社前の愛媛五軍神慰霊祭や、四国中央市村松の関大尉の墓参など、作品に活かす取材も兼ねており、歴史に残る素晴らしい作品になるように応援して参りたいと考えております。

さて、私にとって故・源田実先生は、戦争のご経験からの参議院議員としてのご活躍を尊敬していたヒーローでした。奇しくも愛媛で亡くなり、当時の長岡悟先生からのご依頼を受けて、私が愛媛県秘書課と相談して、全日空松山から東京便にご遺体搬送の手配に関わらせていただいたご縁もあり、不思議な出会いでした。

須本さんの漫画を通じて幅広い世代に歴史の真実を知らしめる、よい機会でもあると信じます。

英霊顕彰の一環として、秋の一日を共に過ごしましょう。



須本壮一
オフィシャルサイト

愛媛縣護國神社英霊顕彰会 入会と継続のご案内

平成26年11月の設立以来、ご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。今後も英霊のご遺徳を顕彰し後世に伝えてゆくために、愛媛縣護國神社英霊顕彰会へのご入会と継続のご協力をお願い申し上げます。お問い合わせは、下記迄お願い致します。

愛媛縣護國神社 英霊顕彰会事務局 TEL (089) 925-2353

正式参拝

☆令和五年四月十七日

愛媛県遺族会女性部総会

女性部部长

清家征子 様

計十名

☆令和五年五月十九日

愛媛県遺族会女性部部长会

会長 関谷勝嗣 様

計三十名

☆令和五年五月二十七日

晴明会

世話人 安永教一 様

計十八名



☆令和五年六月二十三日

愛媛県遺族会評議員会

会長 関谷勝嗣 様

計二十四名

☆令和五年六月二十九日

松山市遺族会役員会

会長 西村利明 様

計四十名



☆令和五年八月十五日

伊豫豆比古命神社

宮司 長曾我部昭一郎 様

計十名

☆令和五年八月二十九日

愛媛県瓦工事業組合

理事長 菊池陽一郎 様

計十七名



☆令和五年七月七日

伊曾乃神社女性部

宮司 堀川修巧 様

計七名

計三名

☆令和五年九月七日

松山市遺族会役員会

会長 西村利明 様

計四十名

御祈禱(お祓い)の

御案内

当社では各種祈願を随時お受けしております。

時間等は社務所へお問い合わせ下さい。

初宮詣

七五三詣

厄除け

交通安全

家内安全

合格祈願

社運隆昌

新年特別祈禱

その他